



生命の星・地球博物館の標本 de むりえ

- ① 写真を参考にしながら本物と同じような色合いにぬってみましょう。
- ② 空想力をはたらかせ「こんな色の生きものがいたらいいな」と思いながら自由にぬってみましょう。



【ポイント】ハサミ脚、歩くための脚をよく見ると、根元から先端まで一様な色をしているのではなく、節ごとに微妙に色が違っているのが分かります。これを表現するのがポイントです。

トゲミズヒキガニ

Latreilopsis bispinosa Henderson, 1888

KPM-NH0002792

なみだのしずく型の甲を持ち、非常に細長い脚を持っているカニです。一番後ろの歩脚の先端はハサミ状になっていて、この部分で毒のある刺胞動物をはさんで高く掲げ、周囲を威嚇します。真っ赤な脚でシロガヤのような白い刺胞動物（イソギンチャクやサンゴのなかま）を掲げたときの、紅白のコントラストが水引を連想させることから「ミズヒキガニ」の名がつけられたという説があります。



神奈川県立 生命の星・地球博物館

Kanagawa Prefectural Museum of Natural History